

令和4年度

事業報告書

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

一般財団法人 東京都営交通協力会

令和5年6月

目 次

| | | |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | はじめに | 1 |
| 2 | 令和4年度事業報告 | 4 |
| | Ⅰ 実施事業等会計 | 4 |
| | 1 交通道德の普及や事故防止に関する事業 | 4 |
| | 2 乗客サービスの増進に関する事業 | 5 |
| | 3 運輸事業等の振興に資する他団体への助成に関する事業 | 5 |
| | Ⅱ その他会計 | 6 |
| | 1 受託事業 | |
| | (1) 駅業務 | 6 |
| | (2) 定期券等発売業務 | 7 |
| | (3) 駅舎・車両等清掃業務 | 8 |
| | (4) 交通誘導警備業務 | 8 |
| | (5) 広告掲出・媒体管理業務 | 9 |
| | (6) 食堂業務 | 9 |
| | 2 収益事業 | |
| | (1) 売店・自販機事業 | 10 |
| | (2) 専門店舗等事業 | 11 |
| | (3) 高架下等賃貸事業 | 12 |
| | (4) 駐車場事業 | 13 |
| | (5) インドアテニス事業 | 13 |
| | (6) 広告販売事業 | 13 |
| | 3 共益事業 | |
| | 会報発行等事業 | 14 |
| 3 | 庶務事項 | 15 |
| 4 | 在籍人員 | 17 |
| | 「事業報告の付属明細書」について | 18 |

1. はじめに

(当会を取り巻く事業環境)

6月に内閣府が発表した令和5年1～3月期の国内総生産（GDP）の改定値は、物価変動の影響を除いた実質値で、前期比0.7%増、年率換算で2.7%増と3四半期ぶりのプラス成長となり、5月に発表した速報値から上方修正となりました。

内容を見ますと、内需の柱でGDPの過半を占める個人消費は、コロナ禍からの経済の正常化で外食や宿泊、交通などサービス関連が幅広く伸びたことにより、前期比0.5%の増となり、4四半期連続のプラスとなりました。また、内需のもう一つの柱である設備投資は、企業の社用車やトラックなど自動車への投資が伸びたことなどにより1.4%の増となり、2四半期ぶりのプラスとなりました。

これにより、令和4年度の第1四半期からの年次の実質GDP成長率は、前年度比1.4%増となり、2年連続のプラス成長となりました。

こうした中、長期金利の指標となる10年物の国債の利回りは、年度当初の0.226%から始まり、その後は、12月に日銀が長短金利操作の運用を一部見直したものの、金融緩和策の継続が決定されると、0.50%前後での推移となりました。

しかしながら、令和5年3月に、アメリカの中堅銀行が相次いで破綻し、スイス金融大手が救済買収されると、金融不安や景気減速懸念の拡がりにより、日本国債の利回りも低下しましたが、当局の対応などにより金融システム不安が和らぐと、下げ幅をやや戻し、0.389%で年度末を迎えました。

引き続き、日銀の動きや債券市場の動向とともに、不安定化する世界経済情勢についても、注視していく必要があると考えています。

(「プラン 22」における令和4年度の実績)

計画の初年度にあたる令和4年度は、都営交通事業の一翼を担う法人として、事業の現状と課題等を踏まえつつ、「安全・安心の確保」、「良質で快適なサービスの提供」、「経営基盤の強化」の3つを事業運営の柱として、「協力会ならではの」取組を充実強化し、積極的に事業を推進するとともに、適切な進行管理を行い、計画に掲げた目標

を概ね達成いたしました。

主な取組として、「安全・安心の確保」では、安全管理委員会を中心とした施策の進行管理に加え、初めて、現場を含めた全本部参加の災害対策本部設置等訓練を行うなど、より実践的な取組も取り入れ、着実に実施いたしました。

「良質で快適なサービスの提供」では、日本橋、五反田、新橋など駅構内の店舗跡地に新たな店舗を誘致したほか、西高島平駅等に高架下耐震補強工事後のテナント施設をオープンし、利便性の向上を図りました。

「経営基盤の強化」では、利用の低迷が続く公衆電話事業について、交通局による管理へと順次移行し、令和4年度をもって事業を終了いたしました。また、人材確保の面では、職員募集の効果的なPRのため、交通局主催の初の合同採用説明会に参加し、求職者に対する積極的なPRを行いました。

引き続き、適切な進行管理と課題解決に努め、計画に掲げた事業及び取組目標の達成に向け、会を挙げて取り組んでまいります。

(令和4年度決算の概要)

当会の会計は、平成20年会計基準を採用し、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分しています。このうち一般正味財産増減の部は、「実施事業等会計」、「その他会計」及び「法人会計」の3つの区分で経理しています。

まず、一般正味財産増減の部のうち、公益目的支出計画に基づく事業を経理する「実施事業等会計」では、都営交通事業を積極的に支援し、協力することを目的として事業を推進するべく、1億9,300万円余を支出しました。前年度に比べ3,500万円余増加しています。

次に、受託、収益及び共益の各事業を経理する「その他会計」についてです。

受託事業の駅業務では、三田線ホームドア更新工事終了によるホーム監視業務の減に伴い収入減となりました。定期券等発売業務では、地下鉄定期券発売所の局直営化及び廃止に伴い収入減となりました。駅舎・車両等清掃業務では、駅壁面清掃の作業面積減に伴い収入減となりました。交通誘導警備業務では、契約時間増に伴い収入増

となりました。広告掲出・媒体管理業務では、都バス有明営業所の広告掲出業務新規受託に伴い収入増となりました。食堂業務では、食堂の休業に伴い収入減となりました。

次に、収益事業の売店・自販機事業では、飲料等自販機の売上増に伴い収入増となりました。専門店舗等事業でも、専門店舗の撤退などもありましたが、コインロッカーの売上増に伴い収入、支出ともに増加となりました。高架下等賃貸事業では、耐震補強工事後のテナント施設の再築に伴い、収入、支出ともに増加となりました。駐車場事業では、時間貸し駐車場の開設に伴い収入、支出ともに増加となりました。インドアテニス事業では、ほぼ前年度並みとなりました。広告販売事業では、パンフレットトラックの減少などにより、収入、支出ともに減少となりました。

これらの結果、受託事業と収益事業に会報発行等事業を經理する共益事業を加えた「その他会計」全体の収支は、前年度比4,800万円余増の5億3,700万円余の黒字となりました。

また、この「その他会計」に「実施事業等会計」と基本財産等運用収入や一般管理費を經理する「法人会計」を合算した「当期経常増減額」は、4億1,700万円余の黒字となりました。

これに過年度修正等の経常外収益1,200万円余、耐震補強工事等に伴う固定資産除却損などによる経常外費用4,000万円余を加減算した「税引前当期一般正味財産増減額」は、3億8,900万円余の黒字となりました。

この結果、これから法人税等を控除し、税効果会計による法人税等調整額を加えた「当期一般正味財産増減額」は、2億2,400万円余の黒字となりました。

また、平成27年度から、耐震補強工事に伴う撤去施設の再築のために受領した補償金を「指定正味財産」として經理しており、「当期指定正味財産増減額」は、4,200万円余の減少となりました。

当会は、今後とも都営交通事業を積極的に支援し協力していくとともに、交通局が推進するグループ経営の一員として、全職員が一丸となって、都営交通事業の一翼を担い、お客様の期待と信頼に応えながら、その使命を着実に果たしてまいります。

2. 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

I 実施事業等会計

(事業費 193,017 千円)

実施事業等会計では、公益目的支出計画に基づき交通道德の実践・普及及び事故防止、乗客サービスの増進などに関する事業を実施し、都営交通事業の使命達成のため、積極的に取り組みました。

1. 交通道德の普及や事故防止に関する事業

(47,512 千円)

- (1) 地下鉄・バス・都電の車内及び地下鉄駅構内、公共道路内でのマナーの普及・向上を図るため、ポスターや小学生用マナー読本の作成などを行いました。
 - ・都営バスラッピングによる交通マナーの啓発
 - ・交通マナーポスター「駆け込み防止」等（18,000 枚）及び交通マナー動画（5 回）の作成
 - ・小学生用マナー読本「楽しく乗ろう！交通マナーブック」（135,000 部）の作成
 - ・公共交通マナー等絵画コンクールの実施
- (2) 交通道德、交通安全標語入りグッズ等を作成しました。
 - ・交通安全標語入り「カレンダー・タオル」（19,848 本）の作成
 - ・バス車内事故防止床ばり（注意喚起）ステッカー（99 枚）の作成
 - ・交通安全標語入り「みんくるダイカットうちわ」（15,000 枚）の作成
- (3) 高齢者等の事故防止のため、自動車営業所における交通安全教室の支援を行いました。（11 回）

2. 乗客サービスの増進に関する事業

(142,413 千円)

- (1) 沿線地域の活性化に寄与するため、都電荒川線サポーター(荒川バラの会等)に対する支援を行いました。
- (2) 都電沿線情報マガジン「さくらたび。」(33,000部×4回)を作成しました。
- (3) 都民の福祉向上に資するため、地下鉄各駅の構内立体図にバリアフリー施設の概要を記載した冊子「都営地下鉄バリアフリーガイド」(日本語版30,000部、英語版10,000部)を作成しました。
- (4) 環境対策、安全対策、お客様の利便向上に資する事業などに助成しました。
 - ・「夏休みわくわくキャンペーン」への協力
 - ・バス路線PR冊子「都バス乗り隊歩き隊」(70,000部×4回)の作成
 - ・ターミナル別路線図の作成(100,000部)
 - ・都営交通環境取組PR広報物の作成
 - ・安全のしおり(日本語版・英語版)の作成(30,000部)
 - ・公共交通利用促進グッズの作成
 - ・デジタルサイネージ用映像の制作

3. 運輸事業等の振興に資する他団体への助成に関する事業

(3,092 千円)

運輸事業等の振興に資するため、公益法人等3団体に助成しました。

- ・日本赤十字社、交通遺児等育成基金、東京善意銀行

II その他会計（受託・収益・共益事業）

（事業収入 10,213,696 千円）

1. 受託事業 (7,291,328 千円)

受託事業では、交通局から委託を受けた地下鉄駅業務、駅舎・地下鉄及び新交通車両やバス車両の清掃業務などの実施により、都営交通の発展に寄与するとともに、お客様が安全・安心、快適に都営交通を利用していただけけるよう着実な業務遂行を図りました。

（1） 駅業務 (4,113,544 千円)

地下鉄については窓口業務やお客様案内、ホーム監視などを、日暮里・舎人ライナーについては窓口業務、お客様案内に関する業務を行っています。執行体制の充実強化や人材の育成を図り、確実かつ効率的な事業運営に努めました。令和4年度の駅業務の受託駅数は前年度と変わらず60駅でした。

【受託駅】

| | | |
|------------|------|---|
| 浅草線 | 12 駅 | 馬込、中延、戸越、高輪台、三田、大門、東銀座、宝町、人形町、東日本橋、蔵前、本所吾妻橋 |
| 三田線 | 13 駅 | 内幸町、水道橋、春日、白山、千石、西巢鴨、板橋区役所前、板橋本町、志村坂上、志村三丁目、蓮根、西台、新高島平 |
| 新宿線 | 11 駅 | 新宿三丁目、曙橋、小川町、浜町、森下、菊川、西大島、東大島、船堀、一之江、篠崎 |
| 大江戸線 | 23 駅 | 東新宿、若松河田、牛込柳町、牛込神楽坂、飯田橋、本郷三丁目、蔵前、両国、森下、月島、勝どき、築地市場、赤羽橋、麻布十番、代々木、西新宿五丁目、中野坂上、東中野、中井、落合南長崎、新江古田、豊島園、練馬春日町 |
| 日暮里・舎人ライナー | 1 駅 | 西日暮里 |
| (計) | 60 駅 | |

(2) 定期券等発売業務

(509,506千円)

定期券・回数券・IC（パスモ）等乗車券類の発売・払戻し、シルバーパス等福祉乗車券の取扱いのほか、案内業務、グッズ販売を行っています。

令和4年度、地下鉄・新交通定期券発売所では、1か所の交通局直営化(神保町)、1か所の閉鎖(日比谷)やモバイルPASMOの浸透、自動定期発売機の利用増の影響により、前年度より取扱額は減少しました。また、都バス・都電定期券発売所では、定期券や一日券など取扱額は前年度よりも増加し、払戻しは減少しました。

各定発所においては、厳しい事業環境の中、お客様ニーズを捉えた良質で快適なサービスの提供に努めました。

① 地下鉄・新交通定期券発売所 14か所

(令和4年度交通局直営化及び閉鎖定発所(直営化)10/22神保町、(閉鎖)12/28日比谷)

【券種別取扱額】

(単位：千円)

| 券種 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 | 率(%) |
|-----------|-----------|-----------|----------|-------|
| 定期券 | 4,988,677 | 5,160,176 | △171,499 | △3.3 |
| 回数券 | 5,676 | 5,462 | 214 | 3.9 |
| 一日乗車券 | 18,158 | 12,487 | 5,671 | 45.4 |
| 払戻し | 787,137 | 950,727 | △163,590 | △17.2 |
| シルバーパス | 73,146 | 69,328 | 3,818 | 5.5 |
| シルバーパス払戻し | 4,332 | 3,388 | 944 | 27.9 |
| 精神乗車証 | 19,410 | 18,128 | 1,282 | 7.1 |
| 合計 | 5,896,536 | 6,219,696 | △323,160 | △5.2 |

② 都バス・都電定期券発売所 13か所(三ノ輪橋おもいで館含む)

【券種別取扱額】

(単位：千円)

| 券種 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 | 率(%) |
|-----------|-----------|-----------|---------|------|
| 定期券 | 1,904,503 | 1,757,138 | 147,365 | 8.4 |
| 都電回数券 | 5,380 | 4,676 | 704 | 15.1 |
| 一日乗車券 | 10,225 | 8,329 | 1,896 | 22.8 |
| 払戻し | 58,165 | 62,157 | △3,992 | △6.4 |
| シルバーパス | 46,474 | 45,271 | 1,203 | 2.7 |
| シルバーパス払戻し | 3,188 | 2,583 | 605 | 23.4 |
| 精神乗車証 | 1,819 | 1,709 | 110 | 6.4 |
| 都営グッズ | 4,030 | (3,014) | 1,016 | 33.7 |
| 合計 | 2,033,784 | 1,884,877 | 148,907 | 7.9 |

※前年度の()は、令和4年度よりおもいで館の都営グッズ取扱を含めることとしたことによる修正

(3) 駅舎・車両等清掃業務

(1,928,768千円)

地下鉄・新交通の駅舎清掃及び地下鉄・バス等の車両清掃を行っています。令和4年度も前年度に引き続き、部内研修の充実化を図り、清掃機器の更新等を行うことにより、現場力の強化、駅構内及び車両の美化推進に努めました。

作業実績は、次のとおりです。

① 駅舎清掃

| 区 分 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増 減 | 率 (%) |
|--------|-------|-------|-----|-------|
| 地下鉄駅舎 | 101 駅 | 101 駅 | 0 駅 | 0.0 |
| 新交通駅施設 | 13 駅 | 13 駅 | 0 駅 | 0.0 |
| 駅壁面 | 34 駅 | 33 駅 | 1 駅 | 3.0 |

② 車両等清掃

| 区 分 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増 減 | 率 (%) |
|--------|-----------|-----------|----------|-------|
| 地下鉄車両 | 360,254 両 | 317,489 両 | 42,765 両 | 13.5 |
| 乗合バス車両 | 191,516 両 | 196,114 両 | △4,598 両 | △2.3 |
| 貸切バス車両 | 280 両 | 367 両 | △87 両 | △23.7 |
| 都電車両 | 11,750 両 | 11,014 両 | 736 両 | 6.7 |
| 新交通車両 | 2,930 両 | 2,205 両 | 725 両 | 32.9 |
| 庁舎 | 2 か所 | 2 か所 | 0 か所 | 0.0 |

※車両数は延べ

(4) 交通誘導警備業務

(345,667千円)

バスターミナルやバス操車所出入口等において、運行業務の補助、都バスの適切な誘導、都バス・一般車両及び乗客・通行人等の安全確認、乗客・通行人等への都バス及び周辺の案内等を行っています。警備業法に基づく教育・指導計画を定めて実施するなど、引き続きコンプライアンスを確保するとともに、安全・確実な業務の実施、案内サービスの向上を図りました。

令和4年度は、4か所で新型コロナウイルス感染症拡大による作業時間短縮の影響を受け前年度よりも時間数が減少しましたが、契約単価・大井競馬場の契約時間の増により増収となりました。

- ・ 主要バスターミナル、バス操車所出入口等…………… 17か所

(5) 広告掲出・媒体管理業務

(358,252 千円)

都営交通の広告媒体の管理及び広告の掲出作業を行っています。掲出不備を防止するために、現場作業員の実務研修を行うなど、確実かつ効率的な掲出に努めました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響などに伴う広告需要減少により、広告掲出枚数の減少が続いています。

作業所数及び作業実績は、次のとおりです。

- ・地下鉄広告作業 …………… 5 か所
- ・都バス広告作業 …………… 20 か所 (前年度比 +1)
(令和4年度 新規受託 有明営業所)
- ・都電広告作業 …………… 1 か所
- ・新交通広告作業 …………… 1 か所
- ・広告媒体管理業務

【広告作業実績】

| 区 分 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増 減 | 率(%) |
|---------|-----------|-----------|-----------|------|
| 地下鉄広告掲出 | 439,762 枚 | 443,935 枚 | △4,173 枚 | △0.9 |
| 都バス広告掲出 | 137,945 枚 | 149,387 枚 | △11,442 枚 | △7.7 |
| 都電広告掲出 | 3,014 枚 | 2,392 枚 | 622 枚 | 26.0 |
| 新交通広告掲出 | 1,924 枚 | 1,355 枚 | 569 枚 | 42.0 |

(6) 食堂業務

(35,591 千円)

バス営業所、地下鉄車両基地などで食堂業務を行っています。賄い人への巡回指導などにより食中毒防止や防火管理の徹底を図り、喫食数増加に努めました。令和4年度は食堂の休業などにより、前年度に比べ減収となりました。

| 区 分 | 令和4年度 | 令和3年度 |
|------------|-------|-------|
| 食堂 | 23 か所 | 23 か所 |
| (うち、年度末休止) | 4 か所 | 3 か所 |

2. 収益事業

(2,922,123 千円)

収益事業では、地下鉄駅構内のメルシー売店の営業、専門店舗等への施設貸付、高架下等の土地を有効活用した施設貸付、駐車場貸付などを実施しています。お客様に安心・快適に利用していただけるよう着実な業務遂行を進めるとともに、増収対策や効率化の推進に積極的に取り組み、利益の確保に努めました。

(1) 売店・自販機事業

(860,163 千円)

① 駅売店

地下鉄駅構内での乗客サービスを図るため、「メルシー売店」として新聞、雑誌、たばこ、菓子、雑貨などの販売を行っています。スマートフォンやタブレット端末などの普及による新聞・雑誌の購買者離れや喫煙人口の減少などの影響を受けるなか、地域特性にあった商品陳列など収支改善に努めました。令和4年度には、2売店を閉店しました。

売店数及び売上実績は、次のとおりです。

- ・メルシー売店 …………… 6売店（前年度比 △4）

※令和5年3月に閉店の2売店を含む

【売店売上実績】

(単位：千円)

| 種別 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 | 率(%) |
|---------|--------|---------|---------|-------|
| 新聞 | 8,449 | 13,933 | △5,484 | △39.4 |
| 雑誌 | 8,735 | 14,482 | △5,747 | △39.7 |
| 煙草 | 42,954 | 94,155 | △51,201 | △54.4 |
| 菓子 | 18,465 | 26,162 | △7,697 | △29.4 |
| 飲料 | 10,745 | 15,067 | △4,322 | △28.7 |
| 雑貨 | 2,068 | 2,915 | △847 | △29.1 |
| テレホンカード | 1 | 2 | △1 | △50.0 |
| 合計 | 91,417 | 166,716 | △75,299 | △45.2 |

② 飲料等自販機

地下鉄駅構内、バス営業所敷地内などに飲料等自販機を設置しています。

- ・ 飲料等自販機等 …………… 939 台 (前年度比 △17)
- ・ オートメルシー …………… 25 か所 (前年度比 △1)

【売上実績】

(単位：千円)

| 種 別 | 令和 4 年度 | 令和 3 年度 | 増 減 | 率 (%) |
|---------|----------|----------|---------|-------|
| 飲料等自販機 | 702, 184 | 616, 904 | 85, 280 | 13. 8 |
| オートメルシー | 66, 561 | 59, 485 | 7, 076 | 11. 9 |
| 合 計 | 768, 745 | 676, 389 | 92, 356 | 13. 7 |

(2) 専門店舗等事業

(485, 111 千円)

「エキナカ」空間を利用して、飲食店、パン販売店、コンビニエンスストアなどを専門業者に委託して出店しているほか、週単位・月単位で出店業者を替える催事事業及びコインロッカー・ATM等のサービス機器の設置に伴う貸付を行っています。令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症予防に対する行動制限が緩和されてきたことにより、駅構内の人流が回復基調となり、コインロッカーをはじめとするサービス機器は、増収となりました。

専門店舗等箇所数(台数)及び売上実績は、次のとおりです。

【構内店舗等箇所数(台数)】

- ・ コンビニエンスストア …………… 6 店舗 (前年度比 △1)
- ・ 飲食・物販・サービス業店舗 …… 25 店舗 (前年度比 △3)
- ・ 催事店舗 …………… 12 か所
- ・ ATM …………… 133 台 (前年度比 +4)
- ・ コインロッカー (宅配便含) …… 155 か所
- ・ 自動証明写真機 …………… 85 台 (前年度比 △4)

※公衆電話は令和 4 年度末までにすべて交通局へ移管

【構内店舗等売上実績】

(単位：千円)

| 区 分 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増 減 | 率 (%) |
|---------------|---------|---------|---------|-------|
| コンビニエンスストア | 30,299 | 41,652 | △11,353 | △27.3 |
| 飲食・物販・サービス業店舗 | 205,046 | 210,276 | △5,230 | △2.5 |
| 催事店舗 | 28,242 | 28,170 | 72 | 0.3 |
| ATM | 80,670 | 77,302 | 3,368 | 4.4 |
| コインロッカー(宅配便含) | 78,586 | 48,475 | 30,111 | 62.1 |
| 自動証明写真機 | 47,408 | 45,355 | 2,053 | 4.5 |
| 公衆電話 | 159 | 164 | △5 | △3.0 |
| その他サービス機器 | 3,394 | 1,911 | 1,483 | 77.6 |
| 合 計 | 473,804 | 453,305 | 20,499 | 4.5 |

(3) 高架下等賃貸事業

(856,377千円)

交通局資産の有効活用の一環として、都営地下鉄高架下等の土地を活用し、店舗や事務所などを設置し、貸付を行っています。

令和4年度は、三田線等高架下耐震補強工事後の施設物再築によるテナントの貸付額が増加したことにより、増収となりました。

店舗等の貸付箇所数は、次のとおりです。

① 高架下等テナント

(単位：千円)

| 区 分 | 令和4年度 | | 令和3年度 | | 増 減 | |
|------|---------|------|---------|------|--------|-----|
| | 金額 | 箇所数 | 金額 | 箇所数 | 金額 | 箇所数 |
| 浅草線 | 33,888 | 9件 | 33,888 | 9件 | 0 | 0件 |
| 三田線 | 582,850 | 165件 | 512,017 | 159件 | 70,833 | 6件 |
| 新宿線 | 102,317 | 34件 | 102,118 | 36件 | 199 | △2件 |
| 大江戸線 | 24,000 | 1件 | 22,200 | 1件 | 1,800 | 0件 |
| 合 計 | 743,055 | 209件 | 670,223 | 205件 | 72,832 | 4件 |

② 委託店舗

(単位：千円)

| 区 分 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増 減 | 率 (%) |
|--------------------|--------|--------|-------|-------|
| 船堀コンビニ、船堀パン店、船堀そば店 | 65,038 | 61,151 | 3,887 | 6.4 |

(4) 駐車場事業

(177,732 千円)

都営地下鉄の高架下の土地やその他交通局の遊休地を活用し、駐車場の貸付を行っています。

令和4年度は、一般駐車場の収入において、新規時間貸駐車場の開設により、前年度を上回りました。

駐車場の貸付箇所数は、次のとおりです。

【収入実績】

(単位：千円)

| 区 分 | 令和4年度 | | 令和3年度 | | 増 減 | |
|--------|---------|-------|---------|-------|--------|------|
| | 金額 | 箇所数 | 金額 | 箇所数 | 金額 | 箇所数 |
| 高架下駐車場 | 39,021 | 10 か所 | 41,169 | 10 か所 | △2,148 | 0 か所 |
| 一般駐車場 | 138,625 | 43 か所 | 129,820 | 42 か所 | 8,805 | 1 か所 |
| 合 計 | 177,646 | 53 か所 | 170,989 | 52 か所 | 6,657 | 1 か所 |

(5) インドアテニス事業

(208,410 千円)

交通局用地を活用してインドアテニスコートを運営しています。テニススクールの営業等は専門業者に委託しています。

令和4年度は、ほぼ前年度並みとなりました。

収入実績は、次のとおりです。

【収入実績】

(単位：千円)

| 区 分 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増 減 | 率 (%) |
|------------|---------|---------|-------|-------|
| インドアテニスコート | 208,410 | 205,788 | 2,622 | 1.3 |

(6) 広告販売事業

(334,330 千円)

交通局から都営交通広告代理店として指定を受け、都営交通広告を中心に、地下鉄車内の中張りポスター、駅構内の電飾ボード・パンフレットラックなどの広告の販売を行っています。令和4年度は、パンフレットラック及びその他広告（他電鉄駅ばり・臨時集中ばり）の収入減が大きく、販売収入の前年度比は減収となりました。バスラッピングでは増収となっています。

広告販売実績は、次のとおりです。

【広告販売実績】

(単位:千円)

| 区 分 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増 減 | 率 (%) |
|-----------|---------|---------|---------|-------|
| ①地下鉄 | 214,423 | 242,822 | △28,399 | △11.7 |
| 中ぶりポスター | 399 | 2,570 | △2,171 | △84.5 |
| まど上ポスター | 410 | 1,717 | △1,307 | △76.1 |
| 駅ばりポスター | 9,786 | 8,749 | 1,037 | 11.9 |
| 駅構内ボード | 75,909 | 76,474 | △565 | △0.7 |
| 駅付近案内図 | 47,849 | 47,549 | 300 | 0.6 |
| パンフレットラック | 65,839 | 76,928 | △11,089 | △14.4 |
| その他 | 14,231 | 28,835 | △14,604 | △50.6 |
| ②都バス | 36,952 | 30,178 | 6,774 | 22.4 |
| まど上ポスター | 1,039 | 1,378 | △339 | △24.6 |
| 車体ラッピング広告 | 26,339 | 16,790 | 9,549 | 56.9 |
| その他 | 9,574 | 12,010 | △2,436 | △20.3 |
| ③都電 | 7,248 | 8,719 | △1,471 | △16.9 |
| まど上ポスター等 | 7,248 | 8,719 | △1,471 | △16.9 |
| ④新交通 | 19,517 | 18,969 | 548 | 2.9 |
| パンフレットラック | 2,133 | 2,120 | 13 | 0.6 |
| その他 | 17,384 | 16,849 | 535 | 3.2 |
| 計 (①～④) | 278,140 | 300,688 | △22,548 | △7.5 |
| ⑤雑収入 | 56,190 | 50,738 | 5,452 | 10.7 |
| 2次手数料 | 8,747 | 10,486 | △1,739 | △16.6 |
| 制作費等 | 47,443 | 40,252 | 7,191 | 17.9 |
| 合 計 | 334,330 | 351,426 | △17,096 | △4.9 |

3. 共益事業

(事業費 2,613 千円)

会報発行等事業

(2,613 千円)

協力会会員に対して、会報「協力会だより」を発行・送付しました。

3. 庶務事項

1 理事会に関する事項

令和4年4月1日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 業務執行理事の選定について
2. 本部長の人事発令について

令和4年6月9日（第1回）

- 第1号議案（審議） 令和3年度事業報告について
- 第2号議案（審議） 令和3年度決算及び公益目的支出計画実施報告書について
- 第3号議案（報告） 決算並びに公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告について
- 第4号議案（報告） 「協力会事業推進計画2022」（プラン22）の令和4年度における取組について
- 第5号議案（審議） 定時評議員会の招集について

令和4年10月26日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 第2回評議員会の招集について

令和4年11月25日（第2回）

- 第1号議案（報告） 令和4年度上期事業報告について

令和5年2月20日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 第3回評議員会の招集について

令和5年3月28日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 評議員の推薦について
2. 理事及び監事の推薦について
3. 本部長の人事発令について

令和5年3月29日（第3回）

- 第1号議案（審議） 令和5年度事業計画・収支予算案について
- 第2号議案（報告） 「協力会事業推進計画2022」（プラン22）の取組実績について

2 評議員会に関する事項

令和4年6月24日（第1回）

- 第1号議案（報告） 令和3年度事業報告について
- 第2号議案（審議） 令和3年度決算について
- 第3号議案（報告） 令和3年度公益目的支出計画実施報告書について
- 第4号議案（報告） 決算並びに公益目的支出計画実施計画書に関する
監査報告について
- 第5号議案（報告） 「協力会事業推進計画2022」（プラン22）の
令和4年度における取組について

令和4年11月25日（第2回）

- 第1号議案（報告） 令和4年度上期事業報告について

令和5年3月29日（第3回）

- 第1号議案（報告） 令和5年度事業計画・収支予算について
- 第2号議案（報告） 「協力会事業推進計画2022」（プラン22）の
取組実績について

令和5年3月31日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 評議員の選任について
2. 理事及び監事の選任について

3 役員に関する事項

| | | | |
|-----------|-------|-----|-----|
| 令和5年3月31日 | 市川 雅明 | 評議員 | 退 任 |
| 令和5年3月31日 | 坂田 直明 | 評議員 | 退 任 |
| 令和5年3月31日 | 木元 隆平 | 理 事 | 退 任 |
| 令和5年3月31日 | 渡邊 範久 | 監 事 | 退 任 |
| 令和5年4月1日 | 小林 弘史 | 評議員 | 就 任 |
| 令和5年4月1日 | 渡貫 貴浩 | 評議員 | 就 任 |
| 令和5年4月1日 | 坂田 直明 | 理 事 | 就 任 |
| 令和5年4月1日 | 宮崎 昌治 | 監 事 | 就 任 |

4. 在籍人員

令和5年3月31日現在

| | 役員 | 職 員 | | | | 合 計 |
|----------|--------|---------|-----|-------------|--------------------|---------|
| | | 職員 | 作業員 | 月給制 契約職員 | 時給制 契約職員 その他 | |
| 総務本部 | 人 3 | 人 23 | 人 | 人 | 人 2 | 人 28 |
| ステーション本部 | | 491 | | 309 | 27 | 827 |
| サービス本部 | 1 | 40 | 4 | 21 | 679 | 745 |
| コマース本部 | | 40 | | | 21 | 61 |
| 合 計 | 4 | 594 | 4 | 330 | 729 | 1,661 |

「事業報告の付属明細書」について

令和4年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定されている「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。